



2021年9月30日

各 位

会社名 住友化学株式会社  
 代表者 代表取締役社長 岩田 圭一  
 (コード番号 4005 東証第1部)  
 問合せ先 経理部長 丹 昌敏  
 (TEL 03-5543-5160)

## 2022年3月期第2四半期業績予想に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、未公表でありました 2022 年3月期の第2四半期(累計)連結業績予想について下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上収益	コア営業利益 (注1)	営業利益	親会社の 所有者に帰属する 四半期利益	基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	1,360,000	140,000	135,000	80,000	48.93
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期累計(注2) (2021年3月期第2四半期)	1,046,771	53,477	50,188	△2,244	△1.37

(注1)コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を控除しております。

(注2)前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な処理が確定したことに伴い、前期第2四半期累計の数値を遡及修正しております。

## 2. 理由

医薬品において、本日連結子会社である大日本住友製薬(株)が大塚製薬(株)との間でライセンス契約を締結したことに伴い、契約一時金(約 300 億円)の収益計上を行う予定です。加えて、石油化学において製品市況の上昇に伴い交易条件が改善し、情報電子化学や健康・農業関連事業では出荷が堅調に推移しております。これらの結果、売上収益およびコア営業利益は、前期第2四半期累計を上回る見込みです。

営業利益および親会社の所有者に帰属する四半期利益についても、コア営業利益の改善に加え、前期第2四半期累計において、円高の進行により為替差損を計上したため、前期第2四半期累計から大幅に改善する見込みです。

なお、今回発表の第2四半期(累計)業績予想は、5月 13 日に公表済みの通期の業績予想に対し、コア営業利益(通期予想 2,000 億円)で 70%、親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益(通期予想 1,000 億円)で 80%と、各利益段階ともに高い進捗率となっております。通期の業績予想については、現在精査中であり 10 月 27 日に予定しております第2四半期決算発表時に改めて説明させていただきます。

※ 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上

(補足情報)

2022年3月期第2四半期連結累計期間セグメント別業績予想

(単位:百万円)

		前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	(ご参考) 前期 第2四半期累計
石油化学	売上収益	—	410,000	—	243,630
	コア営業利益	—	41,000	—	△31,283
エネルギー・ 機能材料	売上収益	—	150,000	—	105,229
	コア営業利益	—	11,000	—	4,769
情報電子学 化	売上収益	—	230,000	—	213,259
	コア営業利益	—	27,000	—	22,139
健康・農業 関連事業	売上収益	—	225,000	—	186,050
	コア営業利益	—	17,000	—	9,325
医薬品	売上収益	—	315,000	—	276,141
	コア営業利益	—	49,000	—	49,054
その他 全社費用等	売上収益	—	30,000	—	22,462
	コア営業利益	—	△5,000	—	△527
合計	売上収益	—	1,360,000	—	1,046,771
	コア営業利益	—	140,000	—	53,477